

第6学年A組 社会科学習指導案

6年A組教室 指導者 伊藤 竜樹

1 単元名 八ツ面の武将 荒川義広の生き方 (戦国の世の中)

2 単元の目標

- ・荒川城主荒川義広に興味をもち、義広の生き方や戦国時代の歴史についてすすんで調べることができる。 (関心・意欲・態度)
- ・戦国武将や当時の人々の生き方について自分の考えをまとめ、友達と伝え合うことで、自分の考えを深めることができる。 (思考・判断・表現)
- ・史跡、年表、地図、文章資料などを活用して、荒川義広について調べたことを簡潔にわかりやすくまとめることができる。 (技能)
- ・荒川義広の生き方を通して戦国時代の様子を理解することができる。 (知識・理解)

3 単元について

(1) 子どもの姿

本学級は、歴史好きな子が多い。休み時間にも歴史に関する本を読んだり、友達同士で歴史クイズを出しあったりする姿を見かける。「自分の知らなかった人のことがわかると楽しい」「昔の建物や写真を見ると興味がわいてくる」など話している。「縄文のむらから古墳のくにへ」の単元で子どもたちは、巨大な古墳の出現に興味をもち、進んで一人調べを行うことができた。「天皇中心の国づくり」の学習では、なぜ聖武天皇は大仏を作ったのかなどを話し合ってきた。1学期に行った総合的な学習では、「八ツ面お宝発見」をテーマに、地域の史跡・遺跡について調べたり、雲母坑の見学などを行ったりした。戦国時代に八ツ面小学校が建っている周辺に荒川城があったこと、この城には武将荒川義広が領主として住み八ツ面周辺を治めていたことなどを知った。この事実の発見は、子どもたちにとって驚きであり、新鮮であった。自分たちの住んでいる八ツ面に約500年前戦国武将が生きていたことを想像さえしていなかった子どもたちは、荒川城や荒川義広を身近なものとしてとらえ始め、関心が高まってきた。

(2) 指導の構想

本単元は、地域教材であり、何度も訪れ、見たり、聞いたり、触れたりして調べることができる。学校周辺に僅かに残っている荒川城の土塁や堀を見学したり、真成寺にある荒川義広の墓を訪れたりして追究意欲を高め、子どもたちが地域の歴史に親しみを感じながら、学習を進めていけるようにしたい。この単元を進めるにあたっては、「明治時代の八ツ面の地図」「西尾市史」「西尾を築いた100人」「西尾の文化財散歩」などの資料を提示し、支援していきたい。東条氏・松平氏・今川氏と友好関係などをわかりやすくするために、年表を作る。難しい文章資料の読み取りで学習が単調になりやすいので、校区の歴史に詳しい石川さんを学校に招いて話をしていただく。そして、吉良本家から今川氏・松平氏(家康)へと主君を次々とかえながらも戦国時代を生き抜いた武将荒川義広や当時の人々の生き方を話し合わせたい。課題に対する自分の意見を記した付箋シートを用意したり、教科書やノートに戻って考える場面を設定したりすることで、話し合いを活発にさせたい。下剋上の戦国時代を生きる武将にとって、主君をかえ、より強い主君に従い、あわよくば自分が主君に取ってかわることは悪ではなく、彼らは家の繁栄を目指して生き抜いていたことに目を向けさせたい。そうすることで、これまでの自分の生き方を見つめ、多様な考え方を身につけさせたい。

4 単元構想（11時間完了、本時9／11）

<p>つかむ</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>荒川城を詳しく調べてみよう（2）</p> </div> <p>○荒川城はどんなお城だったのか予想してみよう。（1）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・八ツ面小学校の場所に荒川城があったんだ。 <p>○荒川城跡を見学してみよう（1）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土井、市場、御屋敷、蔵屋敷などがあったよ。 ・長さ東西130m南北146mの土塁があった。 ・いつごろ、だれが、どんな目的でつくったのかな。 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>教師の支援</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・明治時代と現在の地図を比べることで、荒川城の大きさを予想させる。 ・歩いて荒川城に関係のある地名を見つけ、荒川城の大きさをつかませる。
<p>ふかめる</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>戦国時代を生き抜いた荒川義広の生き方を考えよう（7）</p> </div> <p>○荒川義広は、どんな武将だったのだろう（2）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東条吉良氏や今川氏と仲良くしていた。 ・徳川家康に寝返って西条城を攻めた。 ・徳川家康の妹、市場姫と結婚した。 ・東条城主吉良義昭に寝返って、一向一揆を戦った。 ・1565年8月28日に亡くなったみたいだ。 ・約500年前の人のお墓が残っているなんてすごい。 <p>○荒川義広の墓を見学しよう（1）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・荒川甲斐守義廣公之墓と書いてあったよ。 <p>○歴史に詳しい石川さんに話を聞いてみよう（1）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・戦国時代は下剋上の時代と呼ばれていたんだ。 ・病死説、逃亡説、戦死説などの謎が多いみたいだ。 <p>○荒川義広の年表作りをしよう（2）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・荒川義広の味方がすぐに分かるよ。 <p>○荒川義広の生き方について話し合おう（1）本時</p> <ul style="list-style-type: none"> ・荒川義広は寝返るなんてずるい。 ・織田信長も明智光秀にそむかれていたよ。 ・戦国時代には下剋上が当たり前だった。 ・主君が強いと戦で勝ち、家を守っていきける。 ・生きていくためにより強い主君を求めた。 ・荒川城にいる人達を守りたかったと思う。 ・一向一揆の寝返りは失敗だったけど、家・領地・領民を守る生き方をしていたと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・史跡、年表、地図、文章資料などを参考にして調べさせる。 ・ペアやグループの話し合い活動で知識を深めさせる。 ・真成寺に行って、荒川義広の墓を見学し、地元の出来事であることを実感させる。 ・石川さんの話をもとに荒川義広の生き方への考えを深めさせる。 ・荒川義広と今川氏、松平氏、吉良氏などの友好関係をわかりやすくするために、年表を作成させる。 ・戦国時代の人々の生き方について、自分の考えを深めるためにグループで話し合わせる。
<p>まとめ</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>荒川城や荒川義広について紹介しよう（2）</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・模造紙にまとめたり、紙芝居を作ったりして他の学年に伝えたい。 ・看板を作って八ツ面小学校に来た人や児童に知ってもらいたい。 ・新聞にまとめて、回覧板などで地域の人に読んでもらいたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えをまとめるために、荒川義広へメッセージを書かせる。 ・わかりやすく伝えるために、方法を考えさせる。

5 本時の学習

(1) 目 標 ・荒川義広について友達と考えを伝えあうことで、戦国武将や当時の人々の生き方について自分の考えを深めることができる。

(2) 学習過程

過程	児 童 の 活 動	教 師 の 支 援
つ か む 5 分	1 荒川義広の業績について確認する。 ・荒川義広は徳川家康に寝返って、どこの城を攻めたのか。 ・荒川義広と結婚した徳川家康の妹の名前は何か。 ・東条城主吉良義昭に寝返って、徳川家康と戦った争いを何か。 2 本時の課題を確認する。	・話し合いの場面でも確認できるようにするために、年表や短いキーワードを掲示する。
ふ か め る 33 分	<div style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 「荒川義広はなぜ寝返ったのか」について戦国時代の人々の生き方を話し合おう。 </div> 3 グループで話し合おう。 ・荒川義広は何回も寝返るなんてずるい。 ・織田信長も明智光秀にそむかれていた。 ・戦国時代には下剋上が当たり前だった。 ・自分よりも若い人に仕えたくない。 ・強い主君を求めて自分も出世したい。 ・主君が強いと戦で勝ち、家を守る。 ・生きていくために強い主君を求めた。 ・一向一揆での寝返りは失敗だったけど、必死に生きようとしていたと思う。 ・荒川城と町の人々を守りたかったから、力のある人を求めた。 4 荒川義広や戦国時代の人々の生き方について石川さんの考えを聞く。 ・戦国時代の人々は家・領地・領民を守るために必死で生きていたと思う。	・一向一揆で荒川義広は徳川氏から吉良氏に寝返る場面などを用いる。 ・話し合いを活発にするために、前時に書いた付箋シートを用意し、意見を分ける。 ・戦国時代の背景を深めるために、教科書やノートに戻って考え、グループで話し合わせる。 ・話し合う視点を広げるために、鋭い意見をもっている子どもを指名し、全体へ向けて発表させる。 ・パネルを用意し、グループの意見を全体にわかりやすく発表させる。 ・ゲストティーチャー石川さんの考えを聞き、地域の英雄である荒川義広の生き方に共感させる。
ま と め る 7 分	5 ふり返りカードを書く。 ・私は荒川義広の寝返りはずるいと思っていたけれど、荒川城や町の人々を守ろうとする姿が戦国時代の人々の生き方とわかりました。 ・ずるいと言っていたのでは生きていけない、今とは違った考え方があったと思います。	・「友達や石川さんの意見を聞いて、自分の考えがどのようになったのか」と全体に投げかける。 〈評〉荒川義広の生き方について友達と意見を伝え合うことで、自分の考えを深めることができたか。 (ふり返りカード)